

池原 昭治

# さやまの伝本

第123話



## ガシャ山のオオカミ

昔のお話です。川越の増形に住む、他人の言つことを聞かない頑固な男が、入間川の宿の親戚の家に急用ができて、出かけることになりました。途中、入間川の土手にある、ガシャ山消防署付近にさしかかり、「ここがつわさのガシャ山か、うわやほ、怖くなかんべえ」と独り言を言いながら通り過ぎました。

親戚の用事も何とか無事

に終わり、帰るころには日がとっぷり暮れておりました。「今日はもう遅いから、明日早く帰れば」と引き止められましたが、「いやー、明日は朝から大事な仕事があるでな、今夜中に帰らな」と、馳走の余り物を、どっさりと背負い込んで歩き出しました。

「ガシャ山は通らないよ」と言われたが、あーに、おら平気だべえ」とガシャ山に入った時のことです。ウツ、ウツとオオカミが数匹、ものすごい牙を剥きだし襲ってきました。絶体絶命と覚悟した時、親戚のものが、たいまつをかざして、駆けつけてきました。オオカミは食べ物を持った者を襲うということ、オオカミは火に弱いということを教わりました。その男は、今さらながら他人の忠告はよく聞かなければと思いましたとぞ。



市の木 / 茶の木

狭山茶は鎌倉・室町時代から銘園5場の一つとして名声をうたわれ、市民が愛着を持ちつづけているところから、市の木として決まりました。

狭山が発祥の地

## 童句

7月3日に、童句の創始者である土家由岐雄氏の七回忌記念童句大会が行われました。今月号から特選・入選句を順次掲載します。

特選 3句

花ぶし グイチヨキパーと 開き初む 小野里洋子(狭山市)

丸まつて かくれたつもり だんご虫 山本たけし(大田区)

新築の 貸家につばめ 先に住み 斎木正人(あきる野市)

献句

童句詠んで 先生しのぶ 梅雨の月

広沢一岐

童句翁忌

眼差しやさし 写真置く

渡川誠

## 何かな? 今月の写真クイズ

写真は、今月号に掲載した写真を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか?

正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課あてにお送りください。

締切り8月31日(水・当日消印有効)

7月10日号の答え

18ページ・健康福祉の「元気な狭山っ子」コーナーの写真でした。



## 表紙の写真

7月17日、入間川小学校でダイアプラン・キッズトライアスロン大会が開催されました。当日は、梅雨明けの好天のもと、小・中学生228名が鉄人レースに挑戦。競技中、転倒したりコースを間違えたりとハプニングもありましたが、大勢の方の声援に支えられゴールを目指しました。



狭山市公式モバイルサイトのQRコード  
 QRコードに対応した携帯電話で読み取ると公式モバイルサイトへ簡単にアクセスできます